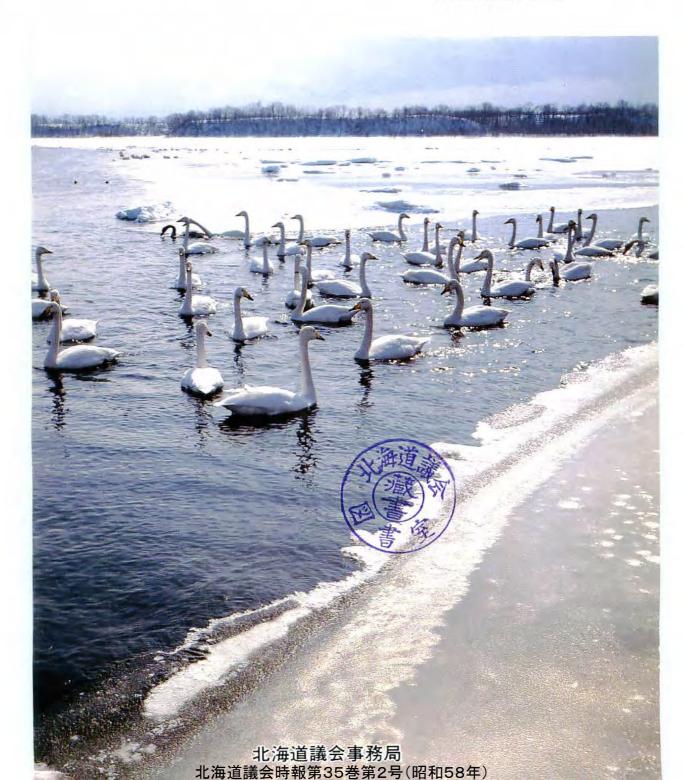
业海道議会時報

第35巻第2号



(表紙写真説明)

とう ふつ こ 冬 の 濤 沸 湖

小清水町と網走市との境界に位置する周囲30kmの細長い潟湖。冬は白鳥の湖として有名。

……第2号もくじ……

委	員	会(の	動	き		
		接入	८ `⊞ {	~꼭 ㅋ	는 달	会	1
						会	
		特	別	委	員	会·····	4
			彩	[合3	開発	調査特別委員会	
			7	i炭	対策	特別委員会	
			#	上方台	須土	対策特別委員会	
会					合		
		全国	国都	道和	守県	議会議長会	5
		都這	直府	県記	義会	議員共済会	5
		10書	8道	府则	議是	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5
資					料		
							_
		提上	出条	件	り処	理状況(昭和57年中)	6
		請願	頁及	びほ	東情	うの処理状況(昭和57年中)	6
		議員	員提	出達	案件	:の件名及び処理結果一覧 (昭和57年中)	7
		請願	頁•	陳忖	青の	件名及び処理経過一覧 (昭和57年中)	9

1月・2月のメモ

議会日誌

▶ 1 月	1	▶ 2 月	
11日(火)	総務、厚生、商工労働、農地開発、	1日(火)	
	水產、総合開発調査特別、北方領	2日(水)	. 油熔胜则丢具人
	土対策特別各委員会	3 日(木)	> 決算特別委員会
12日(水)	農務、文教林務、石炭対策特別、	4日(金)	
	決算特別各委員会	7日(月)	、
14日 (金)	建設委員会	8日(火)	決算特別委員会
19日(水)	決算特別委員会	9日(水)	議会運営、決算特別各委員会
27日(木)	边 欧	10日(木)	決算特別委員会
28日(金)	決算特別委員会	14日 (月)	厚生委員会
		I	

委員会の動き

議会運営委員会

〇2月9日(水) 午後2時8分、議会運営委員 会室において開議、午後2時 16分散会

委員長 水沼徳一郎(自民)

- ① 委員長から、元道議会議員 高橋 雄之助氏 (十勝支庁選出、第13期)の逝去(1月24日) について報告。
- ② 第1回定例会の招集期日を2月16日とする ことを了承。会期は従前の例により20日間と することに決定。
- ③ 総務部長から、第1回定例会提出予定案件 について説明。
- ④ 第1回定例会の日程について、次のとおり 取り進めることに決定。

▽ 第1回定例会日程

2月16日 本会議(提案説明)

17日~21日 休 会

22 H

本会議(代表質問)

23 H

本会議(代表・一般質問)

24 H

本会議(一般質問)

25 H

本会議(一般質問、予算

特別委員会設置)

2月26日

~3月6日 休 会

3月7日

本会議

- ⑤ 代表質問について、順位は、社会、自民、 公明、道政の順とすることに決定。通告は、 19日正午までとすることを了承。
- ⑥ 一般質問について、順位は従来の例により 取り進めることとし、共産党の質問順位は、 今任期中に限り3番目とし、質問時間は概ね 25分とすることを了承。通告は、2月21日正 午までとすることを了承。
- ⑦ 予算特別委員会について、次のとおり了承。
- (1) 構成は、改選期の従来の例により分科会 方式によらず19人(自民11人、社会5人、 道政2人、公明1人)とし、共産党につい

ては申し合せ事項により、理事会の定めた 時間の範囲内において委員外議員として質 疑を許可すること。

- (2) 正副委員長の配分は、委員長自民、副委 員長社会とすること。
- (3) 設置動議の提出は、自民党とすること。
- ⑧ 総務部長から、道立病院等の使用条例の一 部改正に 関する 専決処分 について 報告があ り、異議なく了承。

常任委員会

総務委員会

〇1月11日(火)午後1時37分、第5委員会室において開議、午後1時46分散会

委員長 青山 正男(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度国 費予算及び国鉄特定地方交通線第2次線の選 定凍結に関する中央折衝の概要について口頭 により報告。
- ② 総務部長、開発調整部長及び生活環境部長 から、昭和58年度国費予算の概要について説 明。

厚生委員会

〇1月11日(火) 午後1時28分、第9委員会室 において開議、午後2時23分 散会

委員長 石山 直行(自民)

一般議事

- ① 委員長から、北海道献血推進協議会委員の 推せんについてはかり、現委員である東典俊 (自民)、寺崎政朝(自民)の両委員とする ことに決定。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和58年度国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ③ 民生部長及び衛生部長から、昭和58年度国 費予算について説明。
- ④ 衛生部長から、老人保健法施行に伴う実施 体制について報告の後、

関根建二委員(社会)から、実施体制の整備が遅れた理由、老人医療が衛生部へ所管替えされることに伴う老人福祉対策の推進方策、老人健康診査事業に関し、国が義務負担すべき経費を2/12カットすることに対する道の対応策について

(関連して、川崎守委員(共産)から、40歳以上を対象とした健康診断の体制、保健婦の 確保の見通し、地方賢移植センター設置の見 通しについて)

質疑、意見及び要望があり、衛生部長から答 介。

O2月14日(月) 午後2時5分、第9委員会室 において開議、午後3時26分 散会

委員長 石山 直行(自民)

請願・陳情の審査

請 願

第 57 号 道立夕張療養所の廃止案の撤回 並びに道立病院の拡充、強化を 求める件 (議決不要)

第 117 号 老人医療無料制度の充実を求め る決議に関する件(議決不要)

第118号 老人保健法(案)の制定に関する件 (議決不要)

第 172 号 行政改革に伴う理容・美容・クリーニング業の許認可事項等に 関する件 (採択)

第 175 号 老人医療の有料化と所得制限の 強化に反対し、高齢者の健康と 医療を守ることに関する件

(保留)

第 188 号 老人医療費無料制度の継続と拡 充を求める件 (保留)

第175号・第188号について、衛生部長から一括説明の後、

関根建二委員(社会)から、老人保健法に関し、公平な負担の基本理念、市町村に対する指導内容、無料化を継続している市町村の状況及びその内容、無料化継続についての見解、既に無料化を実施している市町村やこれから無料化制度を導入しようとする市町村に是正の行政指導をする考え、老人病院の診療報酬体系の考え方、特例許可病院の医療従事者の減少に伴う医療の質や供給面の格差についての見解、入院時医学管理料に関し、従来と異なった診療報酬のとり方に

ついての見解、血液検査等の諸検査料を特例を除き月1回と制限する理由及び例外の扱い、退院時指導料の新設に関し老人医療の特性に基づいた制度であることの認識、新法による適正な医療供給と適正な診療報酬の請求に係る指導についての今後の対し、制度スタート後の増員状況及び今後の見通しについて質疑、意見及び要望があり民生部長及び衛生部長など対策の見通しについて質疑、意見及び要望があり民生部長及び衛生部長など対策の見通しについて質疑、意見及び要望があり民生部長及び衛生部長など対策の見通しについて質疑、意見及び要望があり民生部長及び衛生部長など対策の見強した。

第 191 号 腎臓病の予防、治療対策の拡充 と患者の生活保障対策の改善を 要望する件 (採択)

一般議事

○ 衛生部長から、老人保健法施行に伴う実施 体制について報告。

商工労働委員会

〇1月11日(火) 午後1時21分、第8委員会室 において開議、午後1時40分 散会

委員長 藤井 虎雄(社会)

一般 議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度国 費予算に関する中央折衝の概要について口頭 により報告。
- ② 商工観光部長、労働部長及び企業局長から、昭和58年度国費予算の概要について説明。
- ③ 商工観光部長から、昭和57年度上期における本道観光客入込みの概要について説明。

農務委員会

〇1月12日(水)午後1時35分、第7委員会室
において開議、午後2時39分
散会、委員長事故のため、
副委員長 吉野之雄(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度国 費予算に関する中央折衝の概要についてロ頭 により報告。
- ② 農務部長から、昭和58年度農業関係国費予算の概要について説明の後、

岡本栄太郎委員(社会)から、58年度予算 案の落込み、道の要望に対する決定予算の内 容、補助事業における市町村負担とその財政 的うら付け、協同農業普及事業の人件費につ いて

質疑があり、農務部長から答弁。

③ 岡本栄太郎委員(社会)から、農水省北海 道農業対策室のナショナルプランと道のロー カルプラン及び発展計画との整合性について 質疑及び意見があり、農務部長から答弁。

建設委員会

〇1月14日(金) 午後1時20分、第4委員会室 において開議、午後1時38分 散会、委員長事故のため、 副委員長 中川隆之(道政)

一般議事

- ① 副委員長から、さきに実施した昭和58年度 国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 土木部長及び住宅都市部長から、昭和58年度北海道開発関係予算の概要について説明。

農地開発委員会

〇1月11日(火) 午後3時34分、第3委員会室 において開議、午後3時50分 散会

委員長 伊藤 豪(道政)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度農業基盤整備関係国費予算に関する中央折衝の概要について口頭により報告。
- ② 農地開発部長から、昭和58年度農業基盤整 備関係国費予算の概要について説明。

水產委員会

〇1月11日(火)午後1時34分、第6委員会室において開議、午後2時4分散会

委員長 新沼 浩(自民)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度水 産関係国費予算に関する中央折衝の概要につ いて口頭により報告。
- ② 水産部長から、昭和58年度水産関係国費予 算の概要について説明。
- ③ 水産部長から、噴火湾沖合海域における韓 国漁船の協定違反問題について報告の後、

長岡寅雄委員(社会)から、民間又は政府の韓国側との交渉内容、日本の2百海里実施についての道議会及び道の対応等について 質疑、意見及び要望があり、水産部長から答弁の後、委員長から応答。

文 教 林 務 委 員 会

〇1月12日(水) 午後2時5分、第10委員会室 において開議、午後2時34分 散会

委員長 中田 繁夫(社会)

一般議事

- ① 委員長から、さきに実施した道内、道外に おける文教林務事情調査の概要について報告 書により報告、異議なく了承。
- ② 委員長から、さきに実施した昭和58年度国 費予算に関する中央折衝の概要について口頭 により報告。
- ③ 教育長、林務部長及び学事課長から、昭和 58年度文教林務関係国費予算の概要について 説明。
- ④ 教育長から、道立名寄工業高等学校の運営 状況について報告。

特別委員会

総合開発調査特別委員会

〇1月11日(火)午前11時6分、第1委員会室において開議、午前11時30分散会

委員長 吉田 政一(自民)

- ① 開発調整部長から、昭和58年度北海道開発 関係予算について説明。
- ② 川崎守委員(共産)から、沙流川総合開発 に関し、環境影響評価書の附帯意見に対する 道の受けとめ方について

質疑 及び 意見があり、 開発調整部長 から答 弁。

石炭対策特別委員会

〇1月12日(水)午前10時34分、第8委員会室において開議、午前10時44分散会

委員長 宇川 源吉(自民)

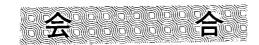
- ① 委員長から、さきに実施した昭和58年度国 費予算に関する中央折衝の概要について口頭 により報告。
- ② 商工観光部長及び労働部長から、昭和58年 度国費予算の概要について説明。

北方領土対策特別委員会

〇1月11日(火)午前10時31分、第3委員会室
において開議、午前10時41分
散会

委員長 小沢 栄吉(自民)

- ① 領対本部長から、昭和58年度国費予算及び 「北方領土の日」啓発事業について報告。
- ② 領対本部長から、総理府総務長官の北方領 +の視察について報告。



全国都道府県議会議長会

- ○1月28日(金) 全議会議室において役員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、昭和58年度本会予算案について、全議事務総長の説明のとおり臨時総会に提出することに決定の後、臨時総会の日程について全議事務総長説明のとおり了承。次に、全議事務総長から、臨時行政調査会の部会報告に対する地方6団体の意見並びに昭和58年度地方財政措置等について説明があって、閉会した。
- 〇1月28日(金) 都道府県会館別館において臨時総会を開催。会長(東京都議長)のあいさつに引き続き、来賓の自治大臣(代理)からあいさつがあった。次いで、協議に入り、昭和58年度本会予算について、会長及び全議事務総長から説明の後、原案のとおり決定した。次いで、全議事務総長から、昭和58年度政府予算編成に対する本会の要望運動経過並びに地方財政対策を中心とした予算措置等について説明があって、閉会した。

都道府県議会議員共済会

- ○1月28日(金) 全議会議室において理事会を開催。会長(東京都議長)のあいさつに引き続き、協議に入り、代議員会の運営、昭和58年度事業計画及び予算案等について協議、原案どうり了承し、代議員会に提出することとし、閉会した。
- ○1月28日(金) 都道府県会館別館において代 議員会を開催。会長(東京都議長)のあいさつ に引き続き、議事に入り、全議事務総長から、 昭和58年度事業計画及び予算案について説明の 後、異議なく原案のとおり承認し、閉会した。

10都道府県議会議長会(第130回)

- ○1月31日(月) 広島県において開催。地元広島県議長及び知事のあいさつの後、座長に地元議長を選出し、協議に入り、まず、大阪府議長から、前回議決事項の処理結果について報告の後、次の事項について協議決定した。次いで、次回開催地を神奈川県に決定し、閉会した。
 - 1 老人福祉対策の充実について
 - 2 私学助成について
 - 3 都市の緑化促進について
 - 4 都市緑化促進の法制化について
 - 5 外国人登録法の改正について
 - 6 肉用牛生産振興施策の充実強化について
 - 7 個人事業税に係る「みなし法人課税」制度 の導入について
 - 8 北方領土の早期返還について



提出案件の処理状況 (昭和57年中)

知事提出案件

定例			提	出	#	数			処		理	状	況		·
臨時	の別	条例案	予算案	その他 の議案	報告	計	原案可決	同意 議決	承認 議決	認定議決	意見を付し 認 定 議 決	修正 議決	継続 審査	報告のみ	計
1	定	19	37	28	4(1)	88(1)	70	2	2	_	_	12	(1)	2	88(1)
2	定	8	2	20	67(1)	97(1)	30	_	36	_	(1)	_	7	24	97(1)
1	臨		_	2	3	5	2	_	_			_	_	3	5
3	定	_	4(7)	16	1	21(7)	15	5	_	(1)	(6)		_	1	21(7)
4	定	8	8	11	5	32	26	1	_	_	_		1	4	32
合	計	35	51(7)	77	80(2)	243(9)	143	8	38	(1)	(7)	12	8(1)	34	243(9)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数であり、外数である。

議員堤出案件

定例			提	出	件	数			処	理	状	況
臨時	の別	会議案	決議案	意見案	修正動議	その他 の動議	計 計	原案可決	否 決	継続審査	撤回	計
1	定	_	2	8	1	4	15	9	3	1	2	15
2	定		1	9	-	(1)	10(1)	9	1	! _	(1)	10(1)
1	臨		_	1		. !	1	1	_		_	1
3	定		_	6	1	 	7	6	1		_	7
4	定	1	_	5	1	-	7	5	2	_	-	7
合	計	1	3	29	3	4(1)	40(1)	30	7	1	2(1)	40(1)

注 かっこ内は、継続審査案件に係る議決件数であり、外数である.

請願及び陳情の処理状況 (昭和57年中)

定例			請			願			陳			情	
臨時	の別	受理件数	採択	取下げ	議決不要	継続審査	計	受理件数	採択	不採択	議決不要	継続審査	計
1	定	9	4	_	1	77	82	2	2		_	25	27
2	定	2	1	9	_	69	79	4	2	1	1	25	29
3	定	18		1	_	86	87	5	_	_	_	30	30
4	定	15	8	1	1	91	101	2	1	_	_	31	32
合	計	44	13	11	2			13	5	1	1		/

注 継続審査及び計欄の数値は、前会から継続審査中のものであって更に継続審査の決定をされたものを含む。

議員提出案件の件名及び処理結果一覧 (昭和57年中)

会 議 案

定例の別 臨時の別 番号	件	名	提	出	者	議決月日	議事	结果
4 定 1	北海道議会議員定数特例条 挙区及び各選挙区において る条例の一部を改正する条	選挙すべき議員の数に関す	岩崎	守男議員に	tか 25 人	12. 25	否	決

決 議 案

定的臨時	別の別	番号	件	名	提	出	者	議決月日	議事	結果
1	定	1	北海道知事堂垣内尚弘君不信任決	議	保格	博夫議員(まか 28 人	3. 24	否	決
		2	議会権威保持に関する決議		水沼領	三一郎議員(ほか13人	4. 2	原案で	可決
2	定	1	衆議院議員佐藤孝行君の議員辞職	を求める決議	湯本	芳志議員に	まか33人	7. 15	否	決

意 見 案

定例 臨時	の別	番号	件名	提	出 者	議決月日	議事結果	備考
1	定	1	昭和57年度畜産物価格等に関する要望意見書	若狭	靖議員はか12人	2. 25	原案可決	農 務
		2	石炭鉱業の長期安定及び夕張新炭鉱再開に関する 要望意見書	宇川	源古議員ほか14人	4. 2	同	石炭対策 特 別
		3	高齢化社会にむけての総合的老後保障の確立に関 する要望意見書	石山	直行議員ほか12人	4. 2	同	厚 生
		4	婦人差別撤廃条約の批准促進に関する要望意見書	青山	正男議員ほか12人	4. 2	同	総務
		5	農畜水産物の輸入自由化・枠拡大阻止に関する要 望意見書	若狭	靖議員ほか23人	4. 2	闹	農 務産
		6	中小・小規模企業の経営危機打開に関する要望意 見書	藤井	虎雄議員ほか11人	4. 2	同	商工労働
		7	核兵器の全面撤廃と軍備縮小の推進に関する要望 意見書	青山	正男議員ほか12人	4. 2	同	総務
		8	所得減税の早期実施に関する要望意見書		[11]	4. 2	同	同
2	定	1	昭和57年産生産者米価等に関する要望意見書	若狭	靖議員ほか12人	6. 26	同	農 務
		2	農業・林業・水産業各普及事業の充実強化に関す る要望意見書	若狭	靖議員はか35人	7. 15	[11]	農務・水 産・文林
	İ	3	航空運賃、航空路に関する要望意見書	青川	正男議員ほか12人	7. 15	阊	総 務
	į	4	国鉄の経営形態に関する要望意見書		[6]	7. 15	[11]	[ii]
		5	積雪寒冷地冬期雇用促進給付金制度終了後の対策 に関する要望意見書	藤井	虎雄議員ほか12人	7. 15	[11]	商工労働
		6	低カロリーガス化発電プラントに関する要望意見 書		[4]	7. 15	间	词
		7	老朽化の火力発電所の設備更新に関する要望意見 書	宇川	源吉議員ほか14人	7. 15	[4]	石炭対策 特 別
		8	運輸政策審議会の答申に関する要望意見書	青川	正男議員ほか12人	7. 15	þij	総務
		9	北海道開発庁の存続に関する要望意見書	吉田	政一議員ほか26人	7. 15	同	総合開発 特 別
1	臨	1	北炭夕張新炭鉱対策に関する要望意見書	宇川	源吉議員ほか14人	9. 8	[ñ]	石炭対策

定例 臨時	の別	番号	件名	提	出	者	議決月日	議事結果	備	考
3	定	1	昭和57年産畑作物価格等に関する要望意見書	若狭	靖議員に	たか12人	9. 29	原案可決	農	務
		2	中小企業事業承継税制の創設に関する要望意見書	藤井	虎雄議員に	たか12人	10. 23	同	商工的	労働
		3	北炭夕張新炭鉱対策に関する要望意見書	宇川	源吉議員は	たか14人	10. 23	间	石炭	讨策
		4	国鉄自動車部門の存続に関する要望意見書	青山	正男議員は	たか12人	10. 23	同	特総	別務
		5	土地基盤整備と環境整備の促進に関する要望意見 書	伊藤	豪議員は	た10人	10. 23	同	農地	用発
		6	第9次道路整備5カ年計画の策定に関する要望意 見書	笹浪	幸男議員は	たか12人	10. 23	同	建	設
4	定	1	国鉄特定地方交通線第2次線の選定凍結を求める 要望意見書	青山	正男議員に	か12人	12. 25	[1]	総	務
		2	公立文教施設整備に関する要望意見書	нıЩ	繁夫議員に	まか10人	12. 25	闻	文教;	林務
		3	義務教育諸学校の児童・生徒に対する教科用図書 無償給与制度の存続に関する要望意見書		[17]		12. 25	同	同	J
		4	私学振興に関する要望意見書		μij		12. 25	[11]	同	
		5	中国引揚者の接護強化に関する要望意見書	石山	直行議員に	まか12人	12. 25	同	厚	生

注 備考欄は提出者の所属委員会を示す。

請願・陳情の件名及び処理経過一覧 (昭和57年中)

請願

(継審=継続審査 議不=議決不要 不採=不採択)

文書表番 号	件	名	請	願		者	受年	理月日	付年	託 月日	付 訊委員会	経 過
2	保育所の大量増設と認可保育所への助成	産休あけ保育の実施及び無 に関する件	無認可保	育所却 代表	と海道 杉日	連絡会 裕子	54.	6.30	54.	7.6	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
5	家庭用灯油の大幅値 求める件	上げをやめさせ量の確保を	道高教組 守る諸要 委	内くら 大貫徒 員長	っしと 数実行 藤田	権利を 委員会 新一	54.	7.4	54.	7.13	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
8	道立病院の拡充強化	を求める件	自治労全				54.	7. 6	54.	7.13	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
12	豊頃町に道立普通科	高等学校新設に関する件	豊頃町:	長 神	田 ほ	貞雄 か3人	54.	7.11	54.	7.13	文教林Ϡ	4定継審
13	月寒・精進川保健保	全林整備に関する件	北海道自然	然保護 石川俊	髪協会 €夫ほ	か 2 人	54.	7.16	54.	7.23	[7]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
14	道立普通科高校の設	置に関する件:	標茶町:	長 师	が ほ	悟郎 か 2 人	54.	7.20	54.	7.23	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
15	道内における学生生	活の条件改善等に関する件	北海道学生	生自治 代表	r会連 西岡	合 誠 	54.	7.21	54.	7.24	総力	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
17	道内における学生生	活の条件改善に関する件		[11]			54.	7.21	54.	7.24	文教林和	4定継審
24	登別市に警察署設置	の件	登別市:	長 中	浜元	三郎	54.	10.22	54.	10.25	総	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
25	肢体不自由児のため 市内に設置する件	の後期中等教育の場を旭川	旭川肢体	不自由 会長	3児父 平山	母の会 ひろ子	54.	12 · 11	54.	12.11	文教林雅	4定継審
27	学費値上げをおさえ り、私学教育の充実 求める件	、 父母負担の 軽減を はか のために大幅な公費助成を	北海道私生中央執行	立学校 委員長	交教職 長 泉	員組合 脩	54.	12.11	54.	12.11	文教林和	4定継審
28	美明養護学校の機能	充実の件	空知生活。岩見沢障	と健身書者音	ß	る会ルミ江		12.11	54.	12.11	[1]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
30	道立全日制普通科高	等学校設置の件	白老高等等設置促進」	切成会	È日制 ₹ 高橋		54.	12.11	54.	12 · 14	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
31	養護学校設置に関す	る件	室蘭市精神をつなぐ		Š	成会手	54.	12.12	54.	12 · 14	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
32	公立高校の増設、小 総合選抜制)、私学 実現を求めるの件	学区制の回復(都市部での 生徒への大幅な公費助成の	苫小牧公 める会	立高核 代表	を新設 平井	をすす 混		12 · 13	54.	12.18	同	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
36	教職員定数改善、40 件	人学級の早期実現を求める	北海道教 生自治会 執行委			分校学 雅裕	54.	12.19	54.	12.22	 [ii]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
37	美瑛高等学校校舎改	築に関する件	北海道美球	戊会	学校 大場	校舎改嗣	55.	2.26	55 .	2.26	[17]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表 番 号	件	名	青	願	者	i .	受年	理月日	付年	託月日	付 委員:	迁会	審査の 経 過
40	道立もなみ学園の廃止案技 る件	敬回と拡充強化を求め	道立もな する父母 代表	の会	廃止に 尭ほカ		55.	2.26	55.	2.26	厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
41	道立身体障害者更生指導所 生指導所の縮小統合案撤り 件	所と重度身体障害者更 国と拡充強化を求める	道立指導 対する気	算所の統 (母の会 代表	Š			2.26	55.	2.26	[6]	ļ	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
42	障害児学校寄宿舎教職員 善に関する件	(寮母) の勤務条件改	札幌市中 日 北海道教	·		12丁		2.26	55.	2.26	文教材	、務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
44	道立精神薄弱者施設和光学に現在地での拡充を求める		北海道立	和光学 会長	学園父兄 菊地	上会 和郎	55.	2.26	55.	2.26	厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
47	薬害スモン恒久対策に関	する作:	北海道ス	モンの 会長		政興	55.	2.26	55.	3. 4	间		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
51	道立もなみ学園の廃止案(める件	D撤回と拡充強化を求	住民サー 道庁機構 闘会議	- ビスを 背改悪反 議長	区対北海	だる 美夫	i	3. 3	55.	3. 6	[17]	1	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
53	道立精神薄弱者施設和光学 びに現在地での拡充を求と	学園の廃止案の撤回並 わる件		[13]		:	55.	3. 3	55.	3. 6	同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
54	道立寿都病院の町移管案。 の拡充、強化を求める件	D撤回並びに道立病院		[17]			55.	3. 3	55.	3. 6	同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
55	道立松前病院の町移管案の の拡充、強化を求める件	D撤回並びに道立病院		[ii]			55.	3. 3	55.	3. 6	្រា		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
57	道立夕張療養所の廃止案の の拡充、強化を求める件	D撤回並びに道立病院		同			55.	3. 3	55.	3. 6	同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
60	道立中央乳児院の移転・ 在地での新築、拡充を要	宿小案の撤回並びに現 まする件	福祉切り 央共闘会	捨てに (議 議長	に反対す 四戸		55.	3. 5	55.	3.11	្រៀ		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
61	道立内部障害者更生指導所 縮小・統合に反対し、現る 求める件	所の美唄市への移転・ 生地での存続、拡充を	道立内部 縮小・科 る会 同窓会	8転・紛	が 更生指 を合に反 高橋	- 4- L L	55.	3. 5	55.	3.11	同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
68	合成洗剤追放に関する件		札幌市中 目「守る合は 中のクま	いなが 沈剤道 そ行委員	くといの 2放北海	ندند	55.	3.21	55.	3.30	公害対特	策別	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
69	道営住宅の敷金還付に関	する件	滝川市湾 の13			日 5	55.	6.28	55.	6.28	建	設	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
72	「モーテル類似旅館」の	主 築規制等に関する件	旭川市5号	条通り) 12丁F 奥村	左 5 一男	55.	6.28	55.	7.10	総	務	1定継審 2定継審 3定継審 4定採択
74	小樽市最上町線道路拡幅(こ関する件 	最上町級 会	全長 会長	ー 生活を 橋本	/守る 政司	55.	7. 3	55.	7.10	同		1 定継審 2 定 取 下 げ
75	国民健康保険に傷病手当、める件	出産手当の実施を求	北海道瓦婦人部協		1団体連 伊藤富		55.	7.16	55.	7.17	厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
76	上士幌高等学校校舎改築	こ関する件	北海道] 改築期成 会長	会	高等学校 三一ほカ		55.	9.30	55.	9.30	文教林	:務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表番 号	件	名	請	顧	者	1	受 理 手月日	! 作	寸 託 F月日	付委員	託	審査の経 過
94	燈油の価格安定と福祉処	登油の実施に関する件	全道燈油プ 対連絡会代 全北海道労 議長 小納ィ	表委員働組合	員 合協議会	ド反 55			.10.2	5厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
96	家庭用燈油の政府指導(の実現に関する件	断格の設定及び福祉燈油		[ri]		55	.10.1	8 55	.10.2	5 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
98	宿日直員の待遇改善に関	引する作	北海道高等 中央執行委 斉	員長	攻職員 組 たほか 1	55	.10.1	8 55	.10.2	5 文教本	ҟ務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
100	指名競争入札の執行に関	する作: 	札幌市中央目			55	.10.	9 55	.10.2	5 総	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
102	私学の学費値上げをおし、教育条件を改善する 求める件	さえ、 父母負担を 軽減 らための大幅公費助成を	北海道私立 執行委員	学校 ៛ 長 ៛	牧職員紅 良	1合655	.12.	9 55	.12.1	2 文教本	木務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
103	留萌南部地区(留萌市 学校普通科間ロ増設に	増毛町・小平町)高等 肉する作	留萌市長		日栄一 まか8人	55	.12.	9 55	.12.1	2 文教材	木務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
105	私学の学費値上げをおる 教育条件の改善と、56年 の生徒減に対して大幅力	・57年「ヒノエウマ」	帯広北高等 会		PTA 毎野 利	_{UME} 55	.12.1	5 55	.12.2	1 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
106	ゆきとどいた教育の実現 加配、教育予算の増額を	見をはかるための教職員 と求める件:	北海道教育 生自治会 執行委員			文学 55 月源	.12.1	7 55	.12.2	1 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
107	特別養護老人ホーム増記	设の件	沧川市 長		司清栄 まか 2 人	56	. 2.2	456	. 2.2	4厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継 4 下 取 下
108	季節労働者の冬期間の付制度の改善に関する件	上事の確保と積寒給付金	地元で働くを要求する代	仕事 る 北海 〕 表	直連絡会	÷ 56	. 2.2	4 56	. 2.2	4商工第	労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審
113	季節労働者の雇用確保と	七年活保障等に関する件	北海道季節	労働約 走	II.合協議 或前谷	^{6会} 忠	. 3.1	2 56	. 3.1	9 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
115	樺太会館建設に関する作	<u> </u>	社団法人樺会		民協会 冨原 章	56	. 3.2	6 56	. 3.2	8 総	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
116	「核兵器の製造、保持、 る法律(非核3原則法) 件	持込み等の禁止に関す 」の制定促進に関する	原水爆禁止 理		直協議会 松浦	· 56	. 6.2	2 56	. 7. :	2 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
117	老人医療無料制度の充実件	きを求める決議に関する	北海道民主	医療植	幾関連合 彡原 着	↑会 卡夫	6.2	2 56	. 7.	2 厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
118	老人保健法(案)の制定	巨に関する件	北海道医師		山崎 選 	大夫 56	6.2	2 56	. 7.	2 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
119	医療法の一部改正に関	トる件:		[i i]		56	6.2	2 56	. 7.	2 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
120	医業税制の確立及び新りる件	医療法人の立法化に関す		同		56	6.2	22 56	. 7.	2 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
121	医療担当手当の引上げる	に関する件		[ri]		56	6.2	2 56	. 7.	2 同		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表番 号	件	名	請	願	1	*	受年	理月日	付年	託 月日	付委員	託会	審査の経 過
125	国民生活に必要な制度と地 交付金削減・一括改悪をや8 改革によって福祉・教育・サ をもとめる件	5、民主的な行財政	北海道生	三活と関 会長	建康を写 第本	Fる会 一豊	56.	7. 1	56.	7. 7	総	務	1 定継審 2 定継審 4 定継審
126	憲法改変・新憲法制定決議を	こ反対の件	札幌牛!	スト教 会長	女子青 竹村	5年会 泰子	56.					務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
127	8月豪雨並びに台風15号に。 る件	よる大雨災害に関す	豊平東音組合身	是理事	易同組子 女雄ほえ		56.	9.12	(56		冷害別へら	・策員託	1 定 一部を除 き 採 択
132	昭和56年8月集中豪雨災害に	こ関する件	豊幌地区	∑災害類 会長	性設期版 阿部	党会 吾市	 56.		! !	.10.23)	冷害	· 災特員会	1 定採択
133	8月集中豪雨による治水対 関する件	策及び 災害復旧等に	江別市署	豊幌自治 会長		住夫	56.	9.26	·	.10.23)	行 冷害 害対	別 災特会	
134	難病検診と道立江差病院診療	療充実に関する件	江差町権	秀本町14	42の7 日別	和子	56.	10. 6	56.	10.14	厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
135	学校の主任制度・手当支給の	D撤廃を求める件	教育・著止する道	対書σ 科書σ 住民会記 代表	髮	とを肌 琢	56.	10.12	56.	10.17	文教	林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
136	40人学級の早期実現・教科 私学助成の拡大等・教育予3 件	書無償制度の維持・ 章大幅増額を求める		同			56.	10.12	56.	10.17	F	J	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
137	江別市に全日制道立普通科 める件	高等学校の新設を求	江別市のをすする	に公立高 うる会 代表	5等学校 土井タ			11.27	56.	12. 8	Ĩ	ĵ	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定採択
138	北海道立高等学校(全日制管 新設を求める件	普通科)の江別市内	58年4月 立高校 新設を引	(全日制 刀望する	普通和	‡)の È	56.	12. 7	56.	12.11	i [i	7	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定採択
139	私学の学費値上げをおさえ、 件の公私格差を是正するため 幅な増額を求める件		北海道和中央執行			負組合 脩	56.	12.11	56.	12.16	fri]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
140	精神衛生社会生活適応施設の	D設立に関する件	釧路市場る連合会		神障害者 鬼武	ちを守 信廣	56.	12.12	56.	12.16	厚	生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
141	「婦人に対するあらめる形態 する条約」の早期批准を求め		自由民主会 婦力	三党北海		那連合 勝子		12.17	56.	12.19	総	務	1 定採択
142	電力立地・電力需給計画・電 を求める件	電カコストの見直し	札幌地区		[合協語 越智]		56.	12.17	56.	12.19	商工	労働	1 定継審 2 定 取 下 げ
143	共和・泊原子力発電所 1・2 求める件	2号機の計画撤回を	- 岩内地▷	《労働和 議長		· 後会 秀雄	56.	12.17	56.	12.19	F	 []	1 定継審 2 定 取 下 げ
144	原子力発電所が農業経営、 響の審議を求める件	という とうとう とうとう とうとう とうしゅう とうしゅ とうしゅ とうしゅ とう	岩内原乳	A問題研 代表		951J				12.21		務	1 定継審 2 定 取 下 げ
145	共和・泊原子力発電所 1・2 ・経済的影響の評価を求める		¹ 器内町泊 i	告住6の	D25 千葉	止憲	56.	12.18	56.	12.21	公害	対策別	1 定継審 2 定 取 下 げ

文書表番 号	件名	請	願			受年	理月日	付年	託 月日	付 託 委員会	審査の経過
146	共和・泊原子力発電所の建設促進を求める件	岩内地区	同盟 議長	松木	克彦	56.	12.19	56.	12.21	商工労働	1 定継審 2 定 取 下 げ
147	同	岩字 4 カ 会	町村原 会長	原発対策 酢谷	策協議 一雄	56.	12.19	56.	12.21	同	1 定継審 2 定 取 下 げ
148	同	総合エネ議代表責用	ルギー				2.24	57.	3. 5	同	1 定継審 2 下 取 下 げ
149	共和・泊原子力発電所 1 · 2 号機設置に伴う防 災計画に関する件	共和地区	•			57.	2.25	57.	3. 5	総 務	1 定議不
150	共和・泊原子力発電所設置に関する温排水による影響の再評価を求める件	岩内町清 岩内町議			進一	57.	2.25	57.	3. 5		1 定継審 2 定 取 下 げ
151	労働行政職員の増員による行政体制確立に関す る件	全労働省部 執行) 労働組 ・委員士			57.	2.25	57.	3. 5	商工労働	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
152	積寒給付金制度の改善・継続と季節労働者の雇 用対策に関する件	地元で働 復活を要 会 代表	求する 委員	る北海) 山科	直連絡 喜一	57.	3. 6	57.	3.13	闻	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
153	道立中標津保健所専任所長配属を求める件	根室地区を守る会		D医療。 杉本	と健康	57.	3. 8	57.	3.13	厚 生	1 定継審 2 定採択
154	農業者年金制度改善に関する件	拓新農協代	ル婦人部 に表者	形 藤永年	智恵子	57.	3. 8	57.	3.13	農 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定採択
155	つり人対策に関する件	「釣りを 会長「釣 幌地区会	りをす	会員」	連合会 会」札 清	57.	3.23	57.	3.29	総 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
156	间		[11]	·		57.	3.23	57.	3.29	水産	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
157	たばこ専売制度存続に関する件	北海道た 連合会 型	:ばこ 事長	反売協同 青木	司組合	57.	3.29	57.	3.31	総務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
158	憲法改悪に連なる「国家機密保護法」(スパイ 防止法)制定促進決議等に反対の件	月本国大	数接给	会北海; 松田	直本部 忠雄	57.	4. 2	57.	6.26	同	2 定継審 3 定 取 下 げ
159	北海道立農業高等学校に造園科の設置を求める 件	北海道是 理事長				57.	6.15	57.	6.26	文教林務	2定継審 3定継審 4定採択
160	煉瓦工の養成に関する件	札幌市西 1号 株式会社 社長	シッ	ナバラ		57.	8. 6	57.	9.29	商工労働	2 字 姚 \$P\$:
161	北海道立衛生学院歯科衛生士科養成課程2年制 移行を求める件	北海道立士科同窓	衛生生	学院歯		57.	8.24	57.	9.29	厚 生	3定継審 4定採択
162	コインランドリーの適正管理に関する件	北海道主	.婦同!		幸子	57.	9. 6	57.	9.29	同	3 定継審 4 定採択
163	優生保護法の改正に関する件	札幌市中日		比 2 条 平	西24丁 久雄	57.	9. 8	57.	9.29	同	3 定継審 4 定継審
164	エルビーガス販売業者の生活権確保のための行 政指導並びに釧路ガス株式会社との紛争解決の ためのあっ旋依頼に関する件	社団法人 ス保安協 支部長	会釧路	各支部		57.	9. 9	57.	9.29	商工労働	3定継審4定継審
165	灯油価格値下げ対策等を要求する件	北海道主				57.	9.21	57	9.29	総 務	3 定継審 4 定継審
166	间		同		-	57.	9.2	57	9.29	厚 生	3定継審4定継審
167	[F]		同			57.	9.2	57	9.29	商工労働	3 定継審 4 定継審

北海道議会時報第35巻第2号(昭和58年)

文書表番 号	件名		願	請	 1	者	受年	理月日	付年	託月日	付 言 委員会		審査の 結 果
168	灯油価格の値下げを要求し暮しを守る対策: める件	を求	日本婦人	会議北 議長	海道2 香収	本部 柳子	57.	9.21	57.	9.29	総	務	3 定継審 4 定継審
169	同			[it]			57.	9.21	57.	9.29	厚	生	3 定継審 4 定継審
170	同			[4]		_	57.	9.21	57.	9.29	商工労	働	3 定継審 4 定継審
171	国鉄オホーツク本線建設促進に関する件		国鉄オホ 進期成会 会長 紋				57.	9.29	57.	10. 5	総	務	3 定継審 4 定採択
172	行政改革に伴う理容・美容・クリーニング 許認可事項等に関する件	業の	北海道理合		衛生	可業組	ĺ	9.29	57.	10. 5	厚	生.	3 定継審 4 定継審
173	中小企業承継税制の創設促進に関する件		北海道商		所連行	合会	57.	9.30	57.	10.13	商工労	働	3 定継審 4 定継審
174	中小企業の事業承継税制の早期確立に関す	る件	中小企業会北海道	支部	野確(宮崎	呆協議 省一		9.30	57.]	10.13	间		3 定継審 4 定継審
175	老人医療の有料化と所得制限の強化に反対 高齢者の健康と医療を守ることに関する件	L.	北海道高の会	等学校			57.	10. 8	57.]	10.13	厚	生	3 定継審 4 定継審
176	個人事業税に「みなし法人税(事業主報酬」 度」の適用に関する件(外2件))制	札幌南青		会連行			9.28	57.1	10.18	総	務	3 定継審 4 定継審
177	住居地域内に建設予定のパチンコ店の開店 に関する件	反対	札幌市西 代表				57.	10.18	57.	10.22	同	İ	3 定継審 4 定議不
178	優生保護法の改正に反対する件		北海道労 議長 小		即	会 か 5 人	57.	10.28	57.	12.10	厚	生	4 定継審
179	ĺříj		北海道教中央執行	職員組委員長			57.	10.30	57.	12.10	[17]		4 定継審
180	低肺機能障害者に対する救急医療対策確立(する件	に関	障害者の 北海道連	生活と	権利? 会		57.	11. 8					4定継審
181	優生保護法の改正反対に関する件		北海道平代表者		会子	<u> </u>	57.	11. 8	57.1	12.10	同		4定継審
182	はり・きゆう・マッサージを医療として正 位置づけ視力障害者の仕事と生活を守る件	しく	障害者の 北海道連	生活と 絡協議 会長	権利 会		57.	11.10	57.	12.10	回		4 定継審
183	障害者世帯及び高齢者世帯に対する積雪期の 雪・冬季採暖費の援助を求める件	 の除		<u>元元</u> 同			ÎΤ	11.10	57.	12.10	同		4 定継審
184	平和憲法を守り北海道の非核地帯宣言を要 る件	 計す	民主教育 合会 全長	をすす 川村			57.	11.26	57.]	12.10	総	務	4 定継審
185	国民生活犠牲の行財政改革に反対し、主任を をやめ教育条件の整備を求める件	手当		同	241.01	/ \	1	11.26	57.	12.10	文教林	務	4 定継審
186	国民生活犠牲の行財政改革に反対し、主任を をやめ教育条件の整備を求める件	手当		闻			57.	11.26	57.	12.10	厚	生	4定継審
187	優生保護法の改正反対に関する件		北海道優 連絡会	生保護 代表			57.	12. 3	57.]	12.10	নি	İ	4定継審
188	老人医療無料制度の継続と拡充を求める件		北海道民		機関			12. 6	57.]	12.10	同		4 定継審
189	私学の学費値上げをおさえ、父母負担をし、私学教育の豊かな発展をはかるための な私学助成を求める件		北海道私中央執行	立学校 委員長	教職 泉	日組合 脩	57.	12. 9	57.1	12.14	वि		4 定継審
190	教科書の書き換えに反対し、子どもに真実 づくよい教科書を与えることを求める件	に北	民主教育 合 会長	をすす	-		57.	12.13	57.	12.16	īť]		4 定継審
191	腎臓病の予防、治療対策の拡充と患者の生 障対策の改善を要望する件	活保	北海道腎会		、渚連		57.	12.15	57.]	12.18	间		4定継審

文書表 番 号	件	名	請	願	者	受 理 年月日	付 託 年月日	付 託 委員会	審査の 結 果
192	公立学校教員採用選表 求める件		在日韓国・ 考える道国 代表世話	の会	法 朋	57.12.16	57.12.18	厚 生	4定継審

陳 情

Pak	1月			_							
文書表番 号	件	名	陳	情	者	受年	理月日	付年	託月日	付 託 委員会	審査の 経 過
1	小樽運河とその周辺の伝流 存等に関する件	統的石造建築物群の保	小樽運河:		会 美ほか2	54	7.16	54 -	7.23	文教林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
2	小樽運河とその周辺の歴 関する件	史的建造物の保存等に	藤女子大 運河問題	」を考	える会		7.16	54.	7.23	[1]	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
3	[6]			[त]		54	7.16	54.	7.23	建 設	3 定継番 4 定継審
5	有害な合成洗剤の使用取 に関する件	り止めと環境汚染対策		会議北議長	海道本部 香取 柳	54	7.21	54.	7.23	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
8	道道小樽港線改良工事の	早期完成に関する件	小樽臨港	線整備 会長	促進期成 川合 一	会 54.	10.16	54.	10.22	建 設	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
9	道道小樽定山渓線の通年	開通に関する件	小樽	並	志村 和:	姓 54.	12.11	54.	12 · 11	[4]	1 定継審 2 定採択
11	札幌市北区篠路町付近にる件	公立高校の新設を求め	篠路地域で 希望する。	슾 .	高校新設 松崎 京	55.	2.26	55.	2.26	文教林務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
13	道道小樽定山渓線の通年	開通に関する件	豊羽鉱山 代表取締	役社長		55・	2.26	55.	2.26	建 設	1 字继索
19	道立和光学園の廃止反対の	の 作 :	道立和光:代表 滝野	学園を	守る会		2.26	55.	2.26	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
20	道道臨港線計画の抜本的	再検討を求める作	小樽運河	を愛す 会長		元55.	2.26	55.	3. 4	建 設	1定継審
26	靖国神社公式参拝に反対の	の件	宗教法人 江教会 代表役員:			55.	3. 3	55.	3. 6	総務	4定継審
28	身体障害者使用自動車の 等に関する件	ガソリン税の道費補助		邻長	門脇	東 55. 東	3. 5	55.	3.11	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
29	道立中央農業試験場江部。 件	乙りんご試験地存続の	道立中央が 江部乙りが 策協議会 会長 滝	んご試	験地存続	30.	3.10	55.	3.15	農 務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
54	老人・母子・年金生活世 の実施等に関する件	帯等への「福祉灯油」 「福祉灯油」					9.30	55.	9.30	厚 生	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
64	郵便貯金の現行制度存続	に関する件	全郵政北海執行委員	 毎道地 員長	方本部 川崎 義	<u>-</u> 56.	6.25	56.	7. 2	総務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
65	「郵貯懇を見守ること」(に関する件	社団法人 会長	札幌五味	銀行協会 彰ほか7.	56.	7.13	56.	7.15	间	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審

文書表番 号	件	名	陳	情		É	受年	理月日	付	託 月日	付 委員	託会	審査の経 過
66	郵便貯金の現行制度存続に	に関する件	北海道地	也方特定 会長	郵便局 熊谷	易長会 五郎	56.	7.15		7.16		İ	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
69	昭和56年8月豪雨災害に関	する件	丘珠連名)町内会 会長		清治	56.	9.21			災特冷害別へえ	災特会	1 定採択
70	郵便貯金問題に関する件		社団法人会長		銀行協		56.	10. 5	56.	10. 9	総	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
71	札幌盲学校の名称変更の件	:	上 江別市大	(麻扇町	15番埠 和泉	也の 5 徹	56.	10. 7	56.	10.17	文教林	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
72	道立高等看護学院を専修学 て設置・管理すること等に	学校又は各種学校とし 上関する件		同			56.	10.12	56.	10.17	文教材	務	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
73	「婦人に対するあらゆる形 の早期批准に関する件	態の差別撤廃条約」	国際婦人 会事務局	、年北海 3長 橋	本富美	「委員 き子 い10人		10.16	 56.	10.23	総	**	1 定採択
74	江別市選出の道議会議員の	定数増員に関する件	江別市人	、麻扇町	15番埠 和泉	也の 5 徹	56.	10.21	56.	10.23	同	1	1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
75	総合助燃触媒ターボエース スト結果の相違を解決する		総合助燃 北海道総 北海道ニ	発売元	株式会	× 24.		12. 7	56.	12.11	[13]		1 定継審 2 定継審 3 定継審 4 定継審
76	豊平川アユの会への助成の)件	豊平川フ	'ュの会 会長		正良	56.	12. 1	56.	12.16	[rī]		1 定継審 2 定不採
77	「婦人に対するあらゆる形を早期批准するよう政府等 める件	態の差別撤廃条約」 ほに要請する決議を求	北海道制 合懇談会 事務	≩婦人連	促進9 絡会 山本			3.18	57.	3.23	同		1定継審2定議不
78	塩専売制度の存続に関する	4	北海塩業		社 後藤	嘉雄	57.	3.23	57.	3.23	间		2 定継審 3 定継審 4 定継審
79	愛国児童館建設に関する件	=	愛国児童会長	重館建設 横沢謙	促進す 三ほか	発員会 ・8人	57.	4.27	57.	6.26	厚	生	2 定継審 3 定継審 4 定継審
80	元軍人軍属恩給欠格者の救	(済に関する件	全国軍人盟北海道	、軍属恩 直連合会	給欠格 代表 岡川			5.11	57.	6.26	[17]		2 定継審 3 定継審 4 定継審
81	江別市に北海道立高等学校 求める件	₹(普通科)の新設を	江別市に 設誘致を 会長	- 道立高 - 才すめ - 二木	等学を対象	交の新 対会 い 2 人	57.	6.26	57.	7. 1	文教材	務	2 定継審 3 定継審 4 定採択
82	北海道星置養護学校に高等	音部の設置を求める件	北海道情 小樽支音 支部長	 指障害	児父担	よの会		7. 8	57.	7.15	文教材	務	2 定継審 3 定継審 4 定継審
83	「核兵器廃絶、平和北海違	宣言」に関する件	北海道母実行委		連絡会	 · 光子	57.	7.27	57.	7.29	総	務	3 定継審 4 定継審
84	(仮称) 釧路がん検診セン 件	ターの設置に関する		を部長	工藤	浜江	57.	9.29	57.	10. 5	厚	生	3定継審 4定継審
85	社会福祉法人釧路まりも学	は鼠の運営に関する件	釧路市南		番34÷ 亀岡	鶴雄	<u> </u>		<u> </u>	10.22	闻		3定継審 4定継審
86	劇団さっぽろ公演事業に対	けする助成の件	劇団さっ	が 代表	林中	直樹	57.	10.20	57.	10.22	文教材	務	3 定継審 4 定継審
87	政府系資金の貸付対象業種 指定することに関する件	にパチンコ遊技業を	北海道边	会長	滝沢	嘉門	57.	10.20	57.	10.22	商工党	衝	3 定継審 4 定継審
88	栄養士免許及び管理栄養士 する件	ご登録制度改廃に反対	社団法/ 海道支部 支部長		栄養 子ほか		57.	12. 2	57.	12.10	厚	生.	4 定継審
89	社会福祉法人釧路まりも学	- 園の運営に関する件	釧路市南	再浜町 9	番34岁 亀岡	, 鶴雄	57.	12.16	57.	12.24	[17]		4 定継審

1月のメモ

- 5日 〇日本軽金属は同社の苫小牧工場を3月までに分離し、別会社とする計画を発表。
 - ○米国防総省はソ連の原子炉積載の軍事海 洋偵察衛星「コスモス1402号」が今月下 旬に大気圏に突入、地球上に墜落すると 発表。23日インド洋中部上空で大気圏に 突入、落下地点は不明。
- 8日 ○臨調の第2部会は「情報公開制度」「予算・財政投融資制度」の部会報告を調査会へ提出。
- 9日 〇中川一郎衆議院議員(本道五区)が札幌 市中央区のホテルで急死。
- 10日 ○臨調の第3部会は「補助金の整理合理化」 の部会報告を調査会へ提出。
- 11日 〇中曽根首相は現職首相としては戦後初めて韓国を正式訪問し、全斗煥大統領と会談、新次元での友好協力関係を構築して行くことで意見が一致。
- 13日 ○政府は経済対策閣僚会議を開き、新たな 市場開放対策を決めた。対策はたばこ関 税引き上げなど5項目で、米側の関心品 目の牛肉、オレンジは含まれていない。
- 14日 ○臨調の第2部会は「公務員の在り方」の 部会報告を調査会へ提出。
- 17日 臨調の第4部会は「特殊法人と現業の在 り方」の部会報告を調査会へ提出。
- 18日 ○訪米した中曽根首相とレーガン米大統領 との首脳会談で、ゆるぎない同盟関係を 再確認。懸案の牛肉・オレンジ問題は平 行線で終わった。
- 19日 〇各国の中小企業政策の責任者が一堂に会 する 中小企業政策 国際会議が 大阪で 開 幕。
- 20日 〇とばくゲーム機捜査などをめぐる大阪府 警察官の汚職事件で、国家公安委員会、 大阪府警は120人にのぼる警察史上空前 の大量処分を行った。
- 26日 〇ロッキード事件丸紅ルートの論告求刑公 判は東京地裁で行われ、検察側は元首相 田中角栄被告に受託収賄罪で懲役5年、 追徴金5億円を求刑。

27日 ○青函トンネル先進導坑貫通。調査斜坑着 工から18年8か月。残り2.7 kmとなった 本坑も60年度完成予定。

2 月 の メ モ

- 1日 ○総理府は57年労働力調査結果をまとめ、 閣議で了承された。それによると完全失 業率は2.4%で30年の2.5%に次ぐ高い数 値。
 - ○長谷川運輸相は青面トンネル活用検討委 員会(仮称)を同相の私的諮問機関とし て設置することを明らかにした。
 - ○山本自治相は閣議で58年度地方財政計画 を報告。歳入・歳出の規模は前年度比 0.9%増と戦後最低の伸び率。
- 4日 ○宇宙開発事業団は鹿児島県種子島宇宙センターから日本初の実用通信衛星の打ち上げに成功。「さくら2号a」と命名。 24日赤道上空に静止。
- 5日 ○「ナショナル・トラストを進める全国の 会」が発足。藤谷豊前斜里町長を会長に 選出。
- 9日 ○スパイクタイヤ公害に悩む全国の自治体 (68道県市)が集まり、初の「道路粉じ ん問題行政連絡会議」を仙台市で開催。
 - ○日本社会党の平林剛書記長が心不全のた め逝去。行年61歳。
- 10日 ○横浜の中学生グループが、路上浮浪者等 に暴力を加え、3人を死亡させていたこ とが判明。
- 12日 ○道教委は公立学校教員の採用選考制度を 25年ぶりに改定、58年度から実施するこ ととした。「情熱ある人間性豊かな教員」 を求め、2次に集団面接を導入。
- 13日 ○東京マラソンで瀬古利彦選手が日本最高 記録(世界歴代4位)で優勝。2位に宗 猛選手(世界歴代6位)。
- 14日 ○石狩湾新港地域に進出を決めたデンマークのノボ・インダストリーの子会社ノボ生化学工業と石狩開発が用地取得契約書に調印。
- 16日 第1回定例道議会開会。
- 18日 〇トヨタ自動車とアメリカGM社とが折半 出資で合弁会社設立に向け覚書に調印。 '84年から小型車を合同生産することになった。

- ○中曽根首相の特使として二階堂自民党幹事長が訪中。呉外相と日中両国関係を中心に会談。
- 21日 ○大阪府堺市議会は「汚職議員の追放と市 長・市議の資産公開の義務」を柱とした 全国初の倫理条例を可決。
- 24日 ○永野重雄日本商工会議所会頭を団長とする訪ソ貿易経済代表団とソ連側との経済会議がモスクワで開かれる。次回会議は来春、東京で開催することで合意、共同声明を採択して閉幕(25日)。
- 27日 ○黒岩彰選手がヘルシンキで開かれたスピードスケートの世界スプリント選手権大会で、日本選手として初の総合優勝。